

広報かるまい2

平成22年(2010年) No.611



今月の主な内容

- 農業委員会だより 2～3
- 町職員の給与について 4～5
- 町民意識調査の結果 6～7
- 火災に気をつけましょう 14

岩手大学管弦楽団による演奏会が1月23日に町民体育館で開催されました。指揮者体験コーナーでは、一般の観客がタクトを片手にオーケストラ演奏の指揮をとりました。(写真は表現豊かに見事な指揮を披露した軽米高校1年の鶴飼将君、関連記事12ページ)

— 新しい委員をご紹介します — (敬称略、右上数字は委員番号)

 <p>公選 中里照夫¹ (軽米駒木、50歳) TEL46-3194</p> <p>担当地区 長倉、軽米駒木、 新大鳥、向川原</p>	<p>会長職務代理</p>  <p>公選 西館徳松⁷ (蛇口、56歳) TEL45-2743</p> <p>担当地区 蛇口、大沢、 上円子</p>	<p>会長</p>  <p>公選 日山一夫¹⁸ (車門、71歳) TEL46-3271</p> <p>担当地区 車門、戸草内、上 増子内、下増子内、 沢里、上館</p>
 <p>公選 小西 寿⁴ (駒板、53歳) TEL47-1059</p> <p>担当地区 平、和当地、東、 新井田、駒板、 大清水、東台</p>	<p>選任 (共済組合) 山田一夫³ (仲軽米、48歳) TEL46-3580</p> <p>担当地区 山田、仲軽米、岩崎、 萩田、新光団地、 緑ヶ丘</p>	 <p>公選 鶴飼榮一² (鶴飼、58歳) TEL45-3150</p> <p>担当地区 高柳、鶴飼、笹渡、 百鳥、七ツ役、 百目金</p>
 <p>公選 中里宣博⁷ (大町、47歳) TEL46-3537</p> <p>担当地区 蓮台野、門前、桜山、 荒町、大町、仲町、本町、 上・下新町、元屋町</p>	<p>選任 (農協) 中里三雄⁶ (蛇口、66歳) TEL45-2722</p> <p>担当地区 蜂ヶ塚、米田、 牛ヶ沢、民田山、 小軽米大久保</p>	 <p>公選 泉山和彦⁵ (下円子下組、51歳) TEL45-2020</p> <p>担当地区 板橋、下円子上組、 下円子下組</p>
 <p>公選 清藤秀則¹⁰ (河北、50歳) TEL45-2030</p> <p>担当地区 河北、上河南、 下河南、沢田、 松ノ脇</p>	 <p>公選 古里典子⁹ (下晴山、63歳) TEL47-2105</p> <p>担当地区 下晴山、上晴山、 内城</p>	 <p>選任 (町議会) 畑山 勲⁸ (下晴山、68歳) TEL47-2737</p> <p>担当地区 沼、早渡、竹谷袋、 山内駒木</p>
 <p>選任 (土地改良区) 内澤初蔵¹³ (向高家、60歳) TEL46-2420</p> <p>担当地区 小松、高家、西里、 外川目、君成田</p>	 <p>選任 (町議会) 古館 久¹² (高清水、59歳) TEL47-2966</p> <p>担当地区 観音林東・西・南・ 北、高清水</p>	 <p>公選 井戸淵春男⁴ (屋敷、51歳) TEL45-3661</p> <p>担当地区 八木沢、屋敷、 小玉川、市野々</p>
 <p>公選 寺澤正幸⁶ (向高家、56歳) TEL46-3730</p> <p>担当地区 上尾田、下尾田、 苜藪山、向高家</p>	 <p>公選 福田光雄¹⁵ (上野場、62歳) TEL47-2305</p> <p>担当地区 上野場、下野場、 横枕</p>	 <p>公選 下谷地敦雄⁴ (下谷地渡、48歳) TEL47-1637</p> <p>担当地区 山口、貝喰、上谷 地渡、下谷地渡、 山内大久保、中村</p>

※自分の地区の担当委員をご確認ください

会長就任のあいさつ

軽米町
農業委員会
だより

新しい農業委員が決定

日山一夫さんが会長に再任



町農業委員会会長
ひやま かずお
日山 一夫さん
(車門、71歳)

平成4年から農業委員を努め平成19年に会長に就任

任期満了に伴う町農業委員会委員選挙が、平成二十一年十二月一日に告示され、十三人が無投票で当選されました。また町議会、新若手農協、若手北部農業共済組合、町土地改良区から選任された委員五人を合わせた全十八人が決定。改選後の第一回総会が一月五日に役場で開催され、会長に日山一夫さん、会長職務代理に西館徳松さんが再選されました。

町の農業に
活力を
与えたい

このたびの町農業委員の改選に伴い開催された第一回総会において、委員各位のご推挙により会長職に再任をいただきました。

町をはじめ関係機関のご指導・ご支援をいただきながら、農業委員が一体となって積極的に農業委員会活動に取り組んで参ります。農業従事者の高齢化や後継者不足等により、全国的に遊休農地や耕作放棄地化が進むなか、農地面積の減少を抑制し国内食糧の自給率の向上を図るため、農地転用の厳格化、農地貸借要件の緩和等を盛り込んだ農地法の一部改正が行われ、平成二十一年十二月に施行となったところであり、

遊休農地の解消、担い手の育成・確保が急務の課題ととらえ、農業委員会では遊休農地の実態調査や農家営農意向調査を行い、状況把握に努めているところであり、今後の集落営農や農地の保全・有効利用に向け、関係機関と連携しながら取り組みを強力に推進して参ります。厳しい農業情勢ではありますが、町の農業に元氣を取り戻すため、農家の皆さんの切実な声を行政に反映できるように要望活動等を展開して参ります。

昨年12月15日より農地制度が変わりました

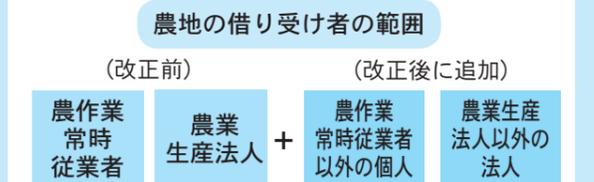
●違反転用に対する罰則が強化

・許可を受けずに農地を転用した場合の罰金額が大幅に引き上げられました

事項	現行	改正後
①違反転用	3年以下の懲役または300万円以下の罰金 (法人は300万円以下の罰金)	3年以下の懲役または300万円以下の罰金 (法人は1億円以下の罰金)
②違反転用における原状回復命令違反	6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金 (法人は30万円以下の罰金)	3年以下の懲役または300万円以下の罰金 (法人は1億円以下の罰金)

●農地の貸し借りが簡単に

・農地を利用できる人の範囲が拡大されました



・町などが農地所有者に代わって農地の借り手をさがす事業が創設されました



●特別職の報酬等(H21.12.1現在)

区分	報酬等月額	期末手当
町長	628,000円	6月期 1.45月分
副町長	522,000円	
教育長	512,000円	12月期 1.65月分
議長	262,000円	
副議長	219,000円	合計 3.10月分
議員	195,000円	

※一般職である教育長は参考として掲載しています

●職員研修の実施状況(平成20年度)

	受講者数	主な研修内容
職場内研修	56人	人材育成研修、メンタルヘルス講習会など
派遣研修	54人	町村会、二戸地区広域行政事務組合研修

●勤務条件などの状況(平成20年度)

◇勤務時間
週40時間、1日8時間(午前8時30分から午後5時30分まで、休憩時間を除く)

◇年次有給休暇の取得状況(H20.1.1~H20.12.31)

総付与日数	総取得日数	対象職員数	平均取得日数	取得率
4,497.3日	1,330.4日	114人	11.7日	29.6%

◇その他の休暇

年次有給休暇以外に、病気休暇、特別休暇(夏季休暇、出産休暇、慶弔など)が認められています。

◇育児休業の取得状況

取得者0人(対象者0人)

◇職員の健康管理

全職員を対象とした定期的健康診断、指定年齢健康診断を実施しています。

◇分限処分・懲戒処分の状況

分限	0人
懲戒	0人

●定員適正化計画と年次別の進捗状況(平成21年4月1日現在、削減目標に対する達成率105.1%)

区分	平成15年【基準】	16年【1年目】	17年【2年目】	18年【3年目】	19年【4年目】	20年【5年目】	21年【6年目】	22年【7年目】	目標値(実績計)
減員【退職】	—	△4(△4)	△8(△11)	△4(△7)	△7(△6)	△10(△10)	△10(△11)	△8	△51(△49)
増員【採用】	—	0(0)	2(0)	1(2)	2(1)	3(2)	5(3)	5	18(8)
差引	—	△4(△4)	△6(△11)	△3(△5)	△5(△5)	△7(△8)	△5(△8)	△3	△33(△41)
職員数	198	194(194)	188(183)	185(178)	180(173)	173(165)	168(157)	165	165(157)

(注)表中の()は実績値

●各種手当の支給状況(H21.12.1現在)

	期末手当	勤勉手当
6月期	1.25月分	0.70月分
12月期	1.50月分	0.70月分
計	2.75月分	1.40月分

※職務の級等による加算措置(役職加算5~10%)有り

	自己都合	勸奨・定年
退職手当		
勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分
1人当たり平均支給額	24,225千円(平成20年度に退職した全職員への支給額の平均)	

通勤手当
①交通機関利用者は運賃相当額(限度70,000円)
②交通用具利用者は2km以上に2,000円から22,000円の範囲で距離に応じて支給

扶養手当
配偶者:月額13,000円
配偶者以外:1人につき6,500円
※配偶者のない場合...1人については11,000円
※15歳~22歳の子の場合...5,000円を加算

住居手当
・持家は3,000円(新築・購入から5年以内に限る、平成21年12月より廃止)
・借家、借間は月額12,000円を超える家賃の額に応じて最高27,000円まで支給

管理職手当
課長級職員へ月額給料に4~5%を乗じた額

休日勤務手当
休日勤務した職員へ1時間当たりの給料単価に25%~50%を乗じた額

日直手当
日直勤務した職員への支給(1回4,200円)

時間外勤務手当(※)	区分	平成19年度	平成20年度
	支給総額		27,696千円
職員1人当たり		161千円	176千円

※全職員を対象に計算

特殊勤務手当	支給総額(平成20年度実績)		70千円
	職員全体に占める手当支給職員の割合		5.6%
	支給対象職員1人当たり平均支給年額		7,739円
7種類	徴収手当、防疫作業手当、医師手当、往診手当、特殊自動車運転作業手当、夜間看護手当、用地交渉手当		

平成21年度のラスバイレス指数

92.2

県内35市町村中29番目(県内市町村平均95.5)

ラスバイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の軽米町の水準を表します。

100より大きいと国より給与水準が高く、逆に小さいと低いこととなります。

●一般行政職員の平均給料月額及び平均年齢(H21.4.1現在)

	平均給料月額	平均年齢
軽米町	344,305円	47.4歳
国	325,521円	41.5歳
岩手県	338,788円	43.0歳

●職種別・学歴別初任給及び経験年数別平均給料月額(H21.4.1現在)

一般行政職	学歴	初任給	経験10年	経験15年	経験20年
		大学卒	172,200円	254,600円	301,300円
一般行政職	高校卒	140,100円	229,500円	268,200円	304,700円
	大学卒	172,200円	254,600円	301,300円	330,800円
労務職	高校卒	137,200円	203,600円	236,600円	262,900円

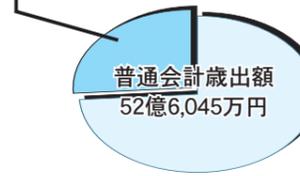
●部門別職員数(各年とも4月1日現在)

区分	部門	職員数			主な増減理由
		H20	H21	増減	
一般行政	議会	3	3		
	総務	28	27	△1	業務見直しによる減
	税務	8	8		"
	民生	36	35	△1	へき地保育園の運営見直しによる減
	衛生	8	7	△1	業務見直しによる減
	農林水産	13	12	△1	"
	商工	4	4		
特別行政	土木	9	8	△1	業務見直しによる減
	小計	109	104	△5	
	教育	26	24	△2	退職者の不補充及び、業務見直しによる減
普通会計	小計	26	24	△2	
公営企業等会計	水道	5	5		
	その他	25	24	△1	業務見直しによる減
	小計	30	29	△1	
合計		165	157	△8	

(注)職員数は一般職。地方公務員の身分を保有する退職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除く

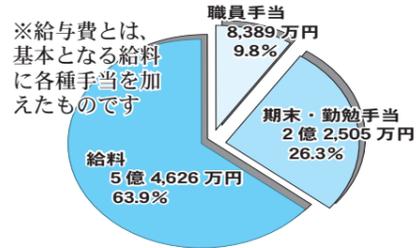
●人件費(平成20年度普通会計決算)

13億5,162万円
普通会計歳出総額の25.7%(平成19年度は25.0%)



●職員給与費の内訳

(平成21年度一般会計当初予算)
・給与費総額 8億5,521万円
・職員1人あたりの給与費648万円(職員数132人)

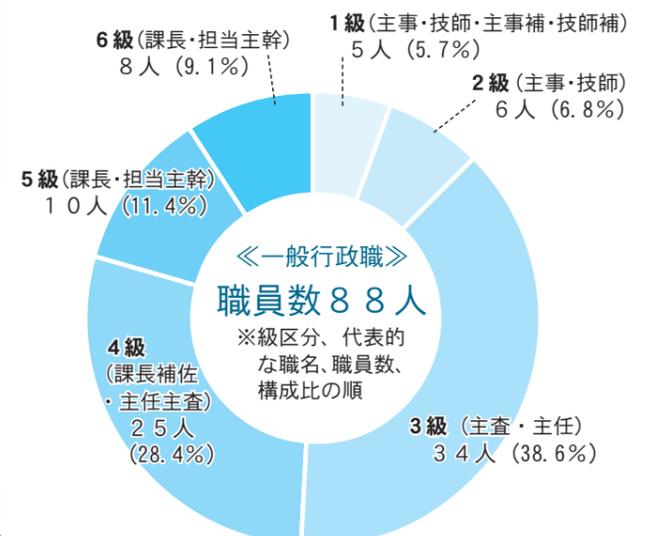


※給与費とは、基本となる給料に各種手当を加えたものです

町職員の給与についてお知らせします

町の福祉や保健、教育、道路の維持管理、産業振興などさまざまな分野の業務を行う町役場には、百五十七人の職員(平成二十一年四月一日現在で特別職を除く)が従事し、その給与は町の条例・規則で決められ支給されています。今回は、平成二十一年四月一日現在の状況についてお知らせします。

●一般行政職の級別職員数の内訳(H21.4.1現在)



法律や制度より 社会生活での平等を望む

町では、平成二十一年十月に町統計調査員を通じて町民意識調査を実施しました。今回は「男女共同参画」をテーマに、町内に在住する四百五十六人を対象に行いました。そのうち八八・六％にあたる四〇四件の有効回答をいただきました。調査結果の概要をお知らせします。



【問3】「男は仕事、女は家庭・育児」という考え方をどう思いますか？

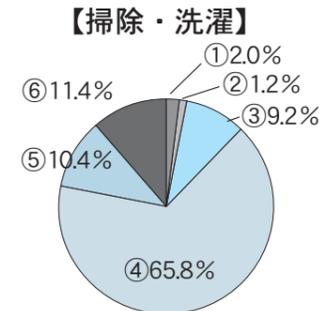
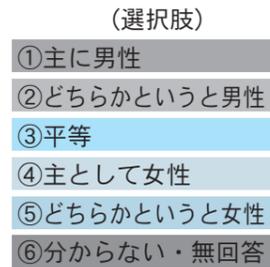
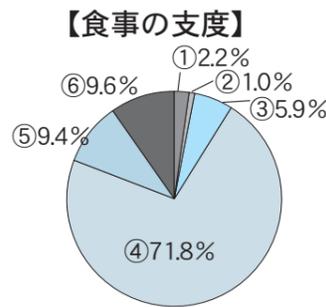
◎ある程度同感するという意見が5割近くを占める

(単位、%)

選択肢	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	全体
同感する	7.1	6.3	4.9	1.3	12.7	10.9	7.7
ある程度同感する	42.9	39.6	52.5	48.7	48.1	42.7	46.0
あまり同感しない	25.0	31.3	32.8	29.5	17.7	16.4	24.0
同感しない	14.3	20.8	3.3	14.1	5.1	4.5	8.9
無回答	10.7	2.1	6.6	6.4	16.5	25.5	13.4

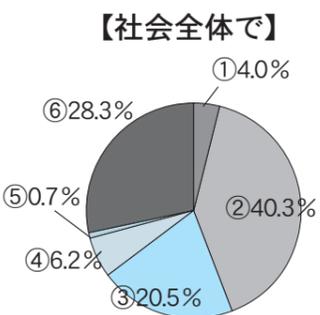
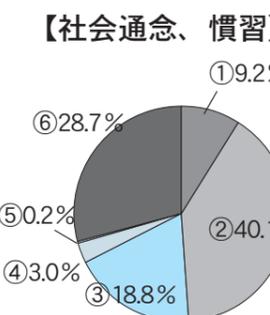
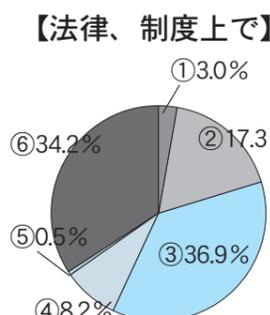
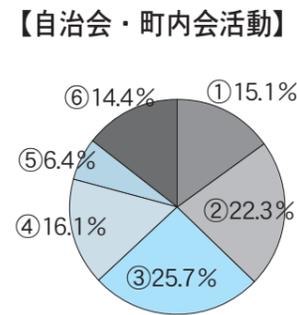
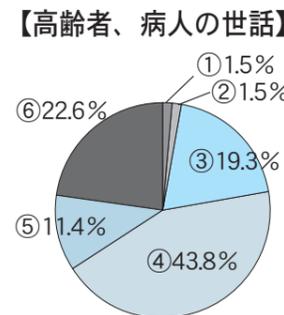
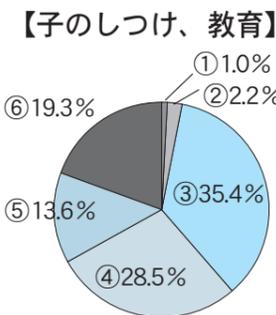
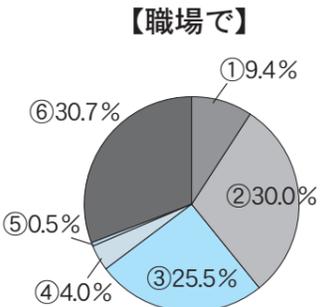
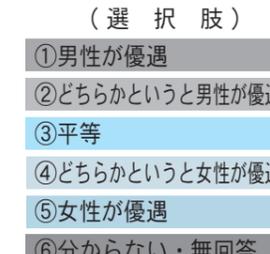
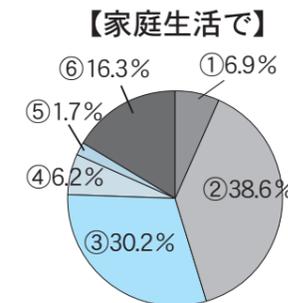
【問4】あなたの家庭では次のようなことを、実際に主として男性・女性どちらがされていますか？

◎家事などは女性が主。近所付き合いや自治会活動は男女同じ程度の家庭が多い



【問1】あなたは現在、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか？

◎法律・制度上は平等と感じる人が多いが、実際は「どちらか」というと男性が優遇



【問5】仕事との関係において、家庭生活または町内会やボランティア、サークル活動などの社会活動をどのように位置づけるのが望ましい？

女性について

- 1、家庭生活または社会活動と仕事を同じように両立 (35.4%)
- 2、仕事にも携わるが、家庭生活または社会生活を優先 (23.5%)
- 3、家庭生活または社会活動にも携わるがあくまで仕事を優先 (16.3%)

男性について

- 1、家庭生活または社会活動にも携わるが、あくまで仕事を優先 (43.3%)
- 2、家庭生活または社会活動と仕事を同じように両立 (26.7%)
- 3、家庭生活または社会活動よりも、仕事に専念 (9.2%)

【問2】今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要と思われることは？

- ・男女を取り巻く社会通念、慣習、しきたりを改める (17.1%)
- ・男性が家事育児、介護等に積極的に参加すること (14.5%)
- ・女性の就業、社会参加を支援するサービス等の充実 (14.1%)
- ・女性の知識、技術の習得など、積極的な生活向上 (13.5%)
- ・子供の時から男女平等教育 (12.3%)
- ・男女差別につながる法律や制度の面直し (11.1%)
- ・女性の役職への登用や、政策決定の場への参画 (7.0%)

男女共同参画について でた自由意見

- ・職場の確保、保育所、高齢者施設のサービスの充実、低料金化により、女性が家庭に縛られないようにするべき (40代男性)
- ・女性が育児、職業ともに活動できる社会にするため男性も協力し地域社会も理解してほしい (70代以上女性)
- ・小さいころから、あるいは生涯学習の場などで、男女平等や男女の役割について教育、学習して、心から思うような人間にしていかなないと制度や規則などを変えても効果がなく持続性もないと思う (60代男性)
- ・女性のみが優遇されている点もたくさんあるということにも目を向け、本当の意味での平等を目指してほしい (20代男性)

町政への自由意見・提言など

- ・日曜日でも保育をしてくれる施設、子どもが病気のときもみてくれるような施設を考えてほしい (30代女性)
- ・企業誘致に力を入れてほしい (50代男性)
- ・役場職員や議員が多く給料支出が多いので他市町村を見習うべき (30代女性)
- ・病院をなくさないでほしい病院で働く人の環境をよくしてほしい。命より大事なものはない (50代女性)

■町民意識調査の詳しい結果については、役場町民ホールにて公表しております。

問い合わせ先
総務課企画グループ
(46-2111)

調査対象者
町内在住者456人(永久選挙人名簿登録者から20分の1を無作為抽出)
調査方法
町統計調査員による訪問留め置き調査
調査日：平成21年10月10日
回収状況：有効回収数 404件
有効回収率 88.6%
回答者内訳
男性(180人)女性(224人)
20～29歳(28人)30～39歳(48人)
40～49歳(61人)50～59歳(78人)
60～69歳(79人)70歳以上(110人)

住みよい町に向け提言



町内の中高生が、町づくりについて、町に意見を述べる中高生徒会リーダー交流会模範議会（軽米地域中高一貫教育協議会主催）が一月八日、軽米町議会議場で開催された。町内の中学校、高校の生徒会役員らが、町当局に十一の質問を投げかけました。議会を終えて山本町長は「深い議論ができてよかった。皆さんからいただいた提言を参考に、町づくりを進めていきたい」と話し、生徒から出た一般質問の一部をご紹介します。



質問者
軽米高生徒会長 皆川達哉君

交通網の整備、人が集まるような仕組みを

町の施設が点的に建てられているほか、交通の便が悪いため、人が集まりにくいと思う。町民や町外の皆さんももっと集まれるような場所を作ってほしい。また、どこからでもそこへ行けるような交通網を整備してもらいたい。

答弁（答弁者 山本賢一町長）

施設を設置した当時は、それぞれの目的に応じて、また町内の一部に施設が集中しないように配慮したものと考えられる。少子高齢化など社会情勢が大きく変化している中で、施設利用の促進を図るため交通手段等について検討したい。利用しやすい交通手段を含め、宿泊もできる集合施設等の可能性を探りながら、町内外から多くの人が集まる魅力ある計画の実現に向けて検討する。



質問者
軽米高生徒副会長 福島みなみさん

働く場所を増やし若者による町の活性化を

軽米高校から町内への就職者が少なく職種も限られている。卒業後進学し、そこで培った力を地元で役立てたくてもできない可能性が高い。1つでも多くの企業を誘致して、町の活性化を図ってもらいたい。

答弁（答弁者 山本賢一町長）

町内には現在5社の誘致企業があり、約600人が雇用されている。しかしその7割が女性で、若者特にも男性の就業先が少ない状況である。町では平成12年度に工業団地を造成し誘致活動に力を入れているが、企業の考え方の変化などもあり誘致に至っていない。そこで、雑穀等を利用した農産物の加工など、食産業関連企業を中心とした誘致活動を行いたいと考えている。また、町内生産者組織の育成による生産や加工販売も推進していきたい。

答弁（答弁者 山本賢一町長）

メディアに取り上げられるのが少ないというのは、PRがまだ不足していることだと思う。情報の共有や連携、発信を目的に、昨年9月に「全国雑穀サミット」を開催した。サミットを契機に、問い合わせも増えている状況である。雑穀を用いた特産品開発や、首都圏消費者で組織する軽米応援隊や在京軽米人会の方やインターネットの有効活用により、さらに雑穀の普及PRに努め、名実ともに日本一の雑穀の町を目指したい。

火災ゼロの町を目指し 町消防団出初め式

町消防団（増尾俊一団長、団員四百三十四人）の平成二十二年出初め式が一月三日、団員二百四十六人と町婦人消防協力隊連絡協議会（井戸渕トシエ会長）の隊員二十人が参加して行われました。式典に先立ち、統監の山本賢一町長と二戸消防署軽米分署の篠山信一分署長、増尾団

長、団幹部、婦人消防協力隊幹部ら十七人が軽米八幡宮を訪れ、町の安全と団員の無事故を祈願しました。出初め式は役場駐車場で開催。増尾団長が「昨年は近年にないほど火災がたくさん起きた。町や地域の安全安心を守るため、より一層の努力を重ね町民の負託に答えなければならぬ。火災ゼロの町軽米を目指したい」と団員への訓示を行いました。

町の学校給食共同調理場が 県教育長賞を受賞

県学校給食会主催の給食調理コンクールが一月六日に盛岡市の学校給食会で行われ、軽米町立学校給食共同調理場が最高賞の岩手県教育長賞に輝きました。同コンクールには、県内八地区から選抜された学校給食調理場が、自由部門（パン主体）と課題部門（ごはん主体）に分かれて、調理や実技のほか、献立



山本町長のもとを受賞報告に訪れた（右から）細谷地さん、大村さん、下斗米さん

や栄養価の審査も行われました。町の調理場からは、学校栄養職員の大村孝子さん（本町）と財団法人教育施設運営会職員の下斗米友子さん（上新町）と細谷地テルさん（笹渡）の三人が参加。地元のと

り肉を使ったチキンケチャップ焼きや、スープにも地元産の雑穀や野菜をふんだんに使うなど、町の特色を生かした給食を披露しました。賞を受賞した三人は一月十九日、山本町長のもとを訪れ受賞を報告。栄養職員の大村さんは「調理場の職員にはいろいろ注文して迷惑もかけてきたと思うが、子どもたちにおいしい給食を食べてもらいたいという思いで作っている。このような賞をもらえてうれしい」と喜びを報告しました。



ラッパ隊を先頭に堂々とした行進を披露した町消防団

表彰式では、団員八十五人への町長表彰、団員を長年支えてきた内助功労への感謝状が二人に贈呈されたほか、団長表彰では第二分団に優良竿頭綴が、五年間無火災の第三分団第二部と十年間無火災の第一分団第三部、二十年間無火災の第七分団第二部に、無火災表彰が贈られました。この後団員たちは役場から蓮台野の徳楽寺まで堂々とした分列行進を披露しました。

町の安全・安心を祈願し初点検 町交通指導隊、防犯隊

町交通指導隊、防犯隊

平成二十二年の町交通指導隊（戸賀澤久作隊長、隊員十一人）と町防犯隊（山館松五郎隊長、隊員九人）の初点検式が一月五日、役場前で行われました。交通指導隊からは六人の隊員が参加。引き締まった表情で、服装や隊員手帳、警笛の

状態などについて点検官の山本賢一町長から確認を受けていました。また防犯隊からは五人が参加。山館隊長は「これまで以上に関係機関・団体と連携を深め、犯罪のない明るく住みよい町を目指したい」と本年の決意表明を行いました。



隊員手帳や警笛の確認が行われました

認知症を理解し 正しい対応を

認知症を学び予防する目的で、認知症予防のつどい（認知症サポーター養成講座）が一月十九日、軽米中央公民館で開催され、参加した町民約八十人が認知症への理解を深めました。

「認知症を予防しよう」と題して、県立二戸病院精神科医の蝦名玄大先生が講演。「時間がかかっても待つてあげる」と「できることもた



身近な話題をテーマにした劇で認知症の理解を訴えた地域包括支援センターの職員

とを大切にしていけること」など、家族や地域の人が、認知症を理解し正しく対応することの大切さを訴えました。講演の後には、地域包括支援センターの職員らが「わたしのおばあちゃん」と題して、認知症のおばあさんとその家族の生活を劇で演じ、認知症の方への正しい接し方を実演しました。

つどいに参加した工藤ユウ子さん（蛇口）は「認知症についてあまり分かっていなかった。理解してあげることの大切さを感じたし、世代を超えて多くの人に伝えていかなければならないことだと思った」と話していました。

今回のつどいは、認知症サポーター養成講座を兼ねており、参加者（講座修了者）には同サポーターの証としてオレンジリングが配布されました。

地元で交流 楽しく会食

3月まで町内各地でふれあい共食事業を実施



みんなで話をしながら楽しく会食する増子内地区の皆さん

高齢者が、住み慣れた地域で安心して元気に暮らせることを願い、会食や交流を行うふれあい共食事業（社会福祉協議会委託）が一月八日から町内各地区で始まりまし

た。一月二十九日には増子内農村振興会館で行われ、地元のお年寄り二十五人が参加しました。お昼からの会食の前には、地元ののはつらつ運動推進員らが講師となつて転倒予防体操を行いました。

参加者らは楽しい雰囲気の中、椅子に座って足を上下運動させるなどして体を動かしました。

会食の準備は、食生活改善推進員や保健推進員、社会福祉協議会の職員らにより行われ、伝統料理のへつちよこ団子やけんちゃん汁、自家製の漬物などが振る舞われました。川島ナヲさん（上増子内、七十七歳）は「家にただいのと違い、みんなの顔を見て話ができるとも楽しくお昼を食べられた。ここに来ると若返りそう。これからも続けてほしい」と、みんなで食べることの楽しさを実感していました。

町子ども会卓球大会 190人が熱戦を展開

第三十九回町子ども会卓球大会が一月十日、町内各地区から二十五チーム、約百九十人が参加して町民体育館で開催された。会場内には父母らの応援がこだまし、熱気に包まれていました。

各トーナメントの結果（○に数字は順位）

- チャンピオントーナメント(予選1位組)
 - 【A】①笹高連合 ②下円子B ③内城、小玉っ子イーグルス
 - 【B】①下円子A ②小玉っ子サンダー ③向高家、鶴飼
- チャレンジトーナメント(予選2位組)
 - 【A】①米田フレンズ
 - 【B】①上円子スーパースマッシュ
- ほのぼのトーナメント(予選3、4位組)
 - 【A】①向川原 【B】①晴山



父母らの応援を背に受け熱戦を展開しました

みんなで作り上げた校歌 元気な歌声響き渡る

軽米町立晴山小学校校歌
明日に向かって羽ばたこう

作詞 吉住 俊子
作曲 あんべ 光俊

一 光きらめく 学び舎に
みんなの笑顔 あふれてる
交わすあいさつ 響き合い
はむむ歌声 軽やかに
折爪の峰 こだまして
明日に向かって羽ばたこう

二 学ぶみんなは 朗らかで
心やさしく たくましい
手と手をかたく つなぎ合い
励まし合って 進もうよ
瀬月の流れ 清らかに
明日に向かって羽ばたこう

三 澄んだ瞳に 夢描き
大地踏みしめ 拓く道
理想をめざし ひたむきに
すてきなたからを 磨こうよ
晴山の丘 緑映え
明日に向かって羽ばたこう
明日に向かって羽ばたこう

（平成二十二年一月七日制定）

晴高、観音林、山内小学校の三校が統合し、本年四月に開校する晴山小学校の校歌が、一月七日の校歌制定委員会で承認され制定されました。

新校歌の作詞は、統合する三校の児童や先生を対象に、晴山小学校への思いをアンケート形式で募集し、集約した意見をもとに観音林小学校の吉住俊子校長先生が作成。また作曲は「遠野物語」や「イーハトーヴの風」などの代表曲を持つ、シンガーソングライターにあんべ光俊さんが行いました。

統合する三小学校の児童は、CDをもとに冬休み明けから新校歌の練習を開始。二



作曲者のあんべさん

月一日には、あんべさんを招いて初の三校合同練習会が観音林小で開かれ、晴山小に進む三校の一年生から五年生八十四人が参加しました。あんべさんは「笑顔あふれる元気な学校にするために、リズムののつて大きな声、大きな口で歌って」と声を掛け、児童らはそれに答え元気に歌い上げました。練習会の後半では、



あんべさん（左）の指導のもと元気に新校歌を歌う児童



期待に胸を膨らませる児童

べさんは「歌詞にある折爪や瀬月内川などを巡りイメージを膨らませて作曲した。これからもずっと歌い継がれてほしい」と、晴山小への思いを話していました。

岩手県立博物館伝統芸能鑑賞会 小軽米えんぶり盛岡で舞う



多くの観客が見守るなか伝統の舞を堂々と披露した小軽米えんぶり

岩手県立博物館の伝統芸能鑑賞会が一月十一日に旧佐々木家住宅前などで開催され、本町の小軽米えんぶりが保存会（圃田喜一会長）が伝統の舞を披露しました。小軽米小学校の児童による松の舞や同中学校の生徒によるえんぶり、伊勢音頭など九演目が披露され、訪れた観客からは大きな拍手が贈られていました。同三年の日山直人君は「細かい所まで注意しながら練習してきた。今日は大勢の前で踊れて楽しかった」と大舞台での発表に満足していました。

町内小中学校で雑穀入り米粉パン給食 モチモチな食感でおいしい

県内産の雑穀と米、小麦粉などで作った米粉パンが、JAいわてグループの助成で一月二十六日に町内の学校給食に提供されました。軽米小学校の五年二組では、町長や雑穀生産者らを招いての給食試食会を開催。松長根翔君は「モチモチしていておいしかった。雑穀は体にいいので、もっといろいろな施設でも提供してほしい」と話していました。この日は町内産イナキビを使用したシチューも出るなど、児童らは雑穀入りの給食を存分に味わいました。



雑穀入り米粉パンや雑穀入りのシチューを味わう児童

大黒醤油でみそ作り教室 地元の豆でみそ作りに挑戦



子どもから大人まで町内外から訪れた約40人がみその仕込みに挑戦しました

大清水地区営農組合（小西寿組合長）と大黒醤油株式会社（坂本剛社長）主催のみそ作り教室は一月二十四日、円子地区の同社で開かれた。味噌の材料には同組合が無化学肥料栽培で作った大豆や米麹を使用。参加者らは、手や足を使って混ぜ合わせる作業に汗を流しました。家族で参加した小林優介君（青森県三戸町）は「大豆を足でつぶすのが面白かった。出まがるのが楽しみ」と笑みを浮かべていました。

岩手大学管弦楽団演奏会 オーケストラと見事な共演

軽米町民文化祭第三十回記念事業の岩手大学管弦楽団演奏会が一月二十三日、町民体育館で開催されました。ラテックキー行進曲や仮面舞踏会など五曲が演奏され、訪れた約二百人の観客は美しい音色に、静かに耳を傾けていました。演奏会の最後には、軽米高校音楽部と軽米童謡を歌う会のメンバーがオーケストラの演奏をバックに「ふるさと」などを歌い共演。同会代表の山下瑠美子さんは「楽しく歌えたと貴重な体験ができた」と話していました。



オーケストラ演奏をバックに美しい歌声を披露した軽米童謡を歌う会と軽米高校音楽部

「夢」づくりスポーツ親善大使・少年野球教室 プロから学ぶ基本の大切さ

スポーツふれあい交流推進事業実行委員会主催の少年野球教室が、一月十日と十一日に軽米中学校体育館で行われ、町内の小中学生約二百二十人が参加しました。プロ野球の元ロッチオリオンズで活躍し、昨年末で日本ハムファイターズで二軍監督を務めた水上善雄さんが、基本からバティングまで、ていねいに指導。軽米中野球部キャプテンの西館駿君は「基本の大切さを実感した。聞いたことを生かし練習に力を入れた」と気を引き締めていました。



声を掛けながらボールを出す水上さん（左）

新春書き初め会 それぞれの思い書き上げる



今年1年の目標などを力強く書き上げました

町文化協会書道クラブ（大清水あさ代表）主催の新春書き初め会は一月七日、軽米中央公民館で開催されました。同クラブのメンバーの指導のもと、参加した小学生ら二十一人は姿勢を正し静かに筆を滑らせ、思い思いの言葉を書き上げました。「正月」と書き上げた晴高小三年の上澤祥太君は「楽しいお正月だった。今年はいっぱい友だちを作りたい」と話し、統合により四月から軽米小学校で始まる新たな生活に思いを巡らせていました。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

バンクーバー五輪のスピードスケートに出場する、音更町出身の平子裕基選手と小原唯志選手の激励会が、1月11日に行われました。平子選手は「応援を力にベストの滑りを」と、小原選手は「やれることをすべてやり本番へ」と健闘を誓いました。



平子・小原選手と母校の駒場中学校スケート部員たち



運動習慣のある人が増えています

健康福祉課主任栄養士 工藤 晃子
平成20年国民健康・栄養調査の結果によると、運動習慣のある人の割合は、男性33.3%、女性27.5%であり、平成15年に比べ男女とも増加しています。一方、一日の歩数の平均値は、男性7,011歩、女性5,945歩と、平成15年に比べ男女とも減少しています。それでは、軽米町民の運動習慣の状況はどうでしょうか。運動習慣のある人は男性25.5%、女性24.6%で国民栄養調査に比べると低い結果になっています。（平成20年特定健診受診者1,451人の調査結果）車による移動が便利になった現代は、運動不足になりやすい社会です。肥満予防やからだの筋力を維持していくためには、普段の生活の中で意識的にからだを動かすことが必要です。

図書館だより

— 今月の新刊 —

【児童書】

すみ鬼にげた

作／岩城範枝 絵／松村公嗣



(福音館書店)

少年ヤスは大工見習いとして奈良の唐招提寺にやってきた。ある時、誰かが泣いているような声を聞いたヤスが、声のする屋根の方へのぼってみると…。

しあわせのボタンタッチ

著／今西乃子 写真／浜田一男

一度は人間に裏切られた子犬の「未来」は、里親に引き取られ、元気に育っていった。そして今、全国の小学校や中学校へ「命の授業」に訪れている。



(岩崎書店)

【一般書】

タダで資格と技術を身につける！
「職業訓練」150%トコトン活用術

著 日向咲嗣



(同文館出版)

キャリアがないけど、上手に就職・転職したい！ そんな人のために、就職に直接役立つ知識や技能を習得できる公的な制度「職業訓練」の活用術を紹介。

パイレーツ—掠奪海域—

著 マイケル・クライトン 訳 酒井昭伸

海賊がはびこる17世紀半ばのカリブ海。スペインの財宝船を奪うべく、百戦錬磨の英国私掠船船長が繰り広げる激闘を描く波瀾万丈の冒険小説。



(早川書房)

図書館ひろば

- ◎日時：2月27日(土) 10:00～11:00
 - ◎会場：旧生活文化博物館
 - ◎対象：幼児～小学校低学年
- 参加をお待ちしています

生活安全の森

振り込めサギの被害防止

すぐに振り込まない！
一人で振り込まない！

○振り込め詐欺被害の現状
(県内、昨年十一月末現在)
・被害件数：四十五件(前年比約三分の一)
・被害金額：七千五百七十七万円(前年比約半分)
※依然として被害が後を絶ちません！



○知って防ごう！4つのポイント

- ・架空請求サギ
- ・融資保証金サギ
- ・還付金等サギ
- ・オレオレサギ

○新たな手口に要注意！

- ・郵便局の定額小包「エクスパック」で現金を送らせる
- ・収入印紙や家電製品を送付

12月の事故と救急の数字

※(累計)は1月からの合計
※見直しにより前月の数値と異なる場合があります

	当月(累計)	昨年比
▶町内の交通事故		
人身事故	5件(17件)	+5
死亡者	1人(3人)	+2
負傷者	5人(15人)	-1
物損事故	14件(97件)	-26
▶救急車の出動回数	22回(322回)	-28
▶飲酒運転検挙者はありません		

軽米病院だより

戸籍

年金

地域医療を一緒に考えましょう

地域医療の厳しい状況をお話すると、決まって「ではどうしたらいいか具体的に示してくれ」と言われます。正直なところ、これをすれば良くなるというものはありません。我々医療の現場からお願いしたいことは、他人事、人任せにせず、どうしていったらいいか一緒に考えていただきたいということです。

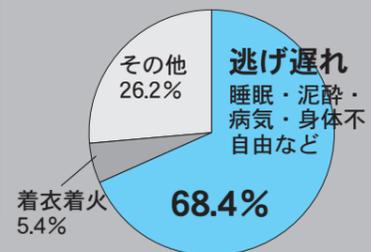
例えば、医療の現状を分かっていたく住民向け懇談会の開催や、どういう症状の時にどういうタイミングでどこの医療機関にかかるのがいいかを学ぶ講習会を開き、町内医療機関の有効利用を図ることも必要です。病院で募集しているボランティアに参加したり、病院の応援隊を作っているところもあります。

我々も協力しますが、町からの支援をお願いするとともに町全体で地域医療について考えていかなければなりません。

岩手県立軽米病院 院長 横島孝雄

火災の実態

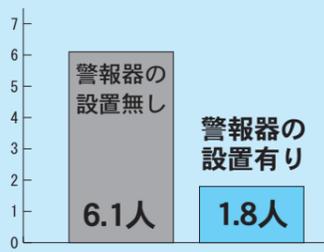
住宅火災で死に至った経過別割合(総務省消防庁資料)



住宅火災における死者は、約七割が火災の発生に気付くのが遅れての逃げ遅れによるもの。また火災は夜間の就寝中と夕食の準備時間に多く発生しています。

警報器の力

住宅火災100件あたりの死者数(総務省消防庁資料)



住宅用火災警報器の設置により、三〜四倍程度の効果が見られます。火災を起こさないことが一番ですが、発生した場合に早急に逃げられるかが生死を分けます。

住宅用火災警報器が大切な命を守ります

消防法の改正により、全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられました。新築住宅はもちろん、既存の住宅は平成二十三年五月三十一日までに取り付けを完了しなければなりません。本町の警報器設置率は二四・〇五%。火災による死者をなくすためにも、警報器は早めに設置しましょう。

教えて！

住宅用火災警報器

Q、どこにつければいいの？
A、全ての寝室と、二階以上の階段部分です。

Q、どこで買えばいいの？
A、お近くの家電製品取扱店やホームセンターなどで購入できます。また、地域の消防団や婦人消防協力隊で取りまとめを行っている場合もあります。

Q、悪質販売もあるの？
A、あります。「消防署から来ました」という言葉にはご用心。消防署や町が直接訪問販売することはありませんのでご注意ください。悪質販売の被害にあった場合は、すぐに役場町民生活課までご連絡ください。

住宅用火災警報器を設置した場合は届出が必要です。二戸消防署軽米分署(四六四一一九)、または役場総務課(四六二一一)までご連絡ください。

石油・薪ストーブの取り扱いにご注意！

昨年末から二戸管内で、石油ストーブや薪ストーブの取り扱い不注意で建物火災が多発しています。ストーブを使用するときは、次のことに注意しましょう。

Check Point

- 給油するときは必ず消火
- カートリッジタンクのふたを確実に閉める
- 煙突の掃除を定期的に行う
- 外出するときは必ず消火
- ストーブの周囲に燃えやすいものは置かない

《軽米分署の本年度の火災・救急件数》
火災 12件(前年比+5)
救急 322件(同 -28)

地元消防団主催の初期消火訓練

地域の防火意識高める

町消防団第七分団 第四部(高森康浩部長)主催の初期消火訓練が一月二十四日、小松地区住民を対象に同地区で行われました。二戸消防署軽米分署の署員らが講師となり地元住民十三人が参加。消火器に関する知識や使い方や学びました。初めて消火器を使ったという松原京子さんは「力もあまり必要なくて安心した。やり方を覚えることができてよかった。」と話していました。



消火器を使い火を消す参加者

2月 February

16	火	軽米町住宅改修研修会【役場】13:00~16:30
17	水	1歳児健診【ふ】13:00~13:30受付
18	木	うまっこ教室【ふ】9:30~12:00
19	金	
20	土	
21	日	第32回町総体・卓球競技【体】8:30~
22	月	福祉用具展示会【ふ】10:00~16:00 介護者家族教室【ふ】13:00~15:00
23	火	二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00(要予約 23-3111)
24	水	ビヨビヨ教室【青少年ホーム】10:00~12:00
25	木	
26	金	
27	土	図書館ひろば【図】10:00~
28	日	夜間・休日の納税相談【役場税務会計課】(～2日)

3月 March

1	月	子どもの発達相談【ふ】9:30~14:30 町税の納期(固定資産税4期、国民健康保険税8期)
2	火	こころの相談【ふ】14:00~15:30
3	水	乳児健診【ふ】13:00~13:30受付
4	木	
5	金	町読書感想文・感想画コンクール表彰式【公】
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	移動図書館車「やまなみ号」巡回(～28日) 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00(要予約 23-3111)
10	水	ビヨビヨ教室【青少年ホーム】10:00~12:00
11	木	うまっこ教室【ふ】9:30~12:00
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	

(カレンダー中の【 】は開催場所下記のとおり表示します)
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館
 図:町立図書館 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター
 老:老人福祉センター フ:雪谷川ダムフォレストパーク・軽米
 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・ス
 ポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野
 球場

スナップ写真館

ふれあい共食事業
(1月29日、増子内公民館)



お知らせ
情報
Information

募集します

広報かるまいへの
広告掲載者を募集

平成22年度の広告掲載業者を次のとおり募集します。

■掲載資格

町内に住所または主たる事業所、営業所を有する者

■料金

- ①1号広告(縦4.5センチ×8.5センチ) …4,000円/月(6カ月以上掲載する場合 3,000円/月)
- ②2号広告(縦4.5センチ×18センチ) …8,000円/月(6カ月以上掲載する場合 6,000円/月)

■申し込み期限

平成22年3月10日(申込が少ない場合、その後も随時募集します)

※本広報の18ページ下段に掲載されているのが、1号広告です。1カ月単位で掲載もできますのでお気軽にお問い合わせください。

【申し込み・問い合わせ先】町総務課企画グループ(46-2111)

電気通信サービスの
モニターを募集します

電気通信サービスに関する利用者のご意見やご要望を幅広くお聞かせいただき、今後の情報

通信行政に反映させるため、東北総合通信局は、平成22年度電気通信サービスモニターを下記のとおり募集します。

▶応募資格

電話・インターネットなどの電気通信サービスに関心がある東北6県にお住まいの満20歳以上の方。ただし、総務省及び電気通信事業者に勤務経験のある方とご家族を除きます。

▶モニターにお願いすること

- ・年2回実施予定の総務省が実施するアンケートへの回答(モニター全員)
- ・各地域で開催するモニター会議への出席(別途出席をお願いする方のみ)

▶委嘱期間

平成22年6月1日から平成23年3月31日まで

▶募集人員

120名

▶募集期間

平成22年3月1日から同年4月2日まで(当日消印有効)

※アンケート調査にご協力いただいた方及びモニター会議にご出席いただいた方に、それぞれ別途謝礼金をお支払いします。

【問い合わせ先】総務省東北総合通信局電気通信事業課(022-221-0628)

開催します

広域行政事務組合の
定例会を開催します

二戸管内4市町村で構成している二戸地区広域行政事務組合の2月定例会が開催されます。暮らしに身近な消防、介護保険、し尿処理、ごみ処理などの共同処理事業について質疑が行われます。お気軽に傍聴してください。

- ▶日時: 2月24日(水)10:00~
- ▶場所: 二戸地区広域行政事務組合会議室
- 【問い合わせ先】二戸地区広域行政事務組合事務局(二戸地区衛生センター内 23-7772)

自衛隊岩手駐屯地で
定期演奏会を開催

- ▶日時: 3月13日(土) 開場14:15、開演15:00
- ▶場所: 盛岡市民文化ホール(マリオス)
- ▶出演: 岩手駐屯地音楽隊、第9音楽隊、秋田駐屯地音楽隊 巖鷲太鼓部
- ▶入場料: 無料
- ▶入場整理券の配布: 2月20日から次の場所で配布を行います(マリオス、フェザン、川徳、県民会館、東山堂楽器)

中の橋店、自衛隊岩手地方協力本部、八幡平市・紫波町・矢中町・滝沢村・雫石町の役所及び役場担当課)

【問い合わせ先】陸上自衛隊岩手駐屯地司令業務室(019-688-4311)

その他

電子申請に関わる
アンケートを実施

県では、県内市町村と共同で24時間365日「電子申請サービス」を県民及び事業者の皆様にご提供しています。

このシステムをさらに便利にご利用できるように皆様にご近の手続きの追加を検討するため、アンケート調査(所要時間3分程度)を県のホームページ上で2月28日(日)まで実施しています。

期間中に県のホームページ「電子申請」または検索によりお入りいただき、アンケートに答えていただいた方の中から、抽選で「安心、おいしい、いわての雑穀 岩手県産十二穀」または「小岩井農場マドレーヌ」をプレゼントします。ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】県庁IT推進課(019-629-5247)

確定申告書は
早めの提出を

平成21年分の所得税と贈与税の申告と納税は、3月15日(月)、個人事業者の消費税及び地方消費税の申告と納税は3月31日(水)が期限です。申告や納税が遅れると、加算税や延滞税がかかる場合がありますので、お早めにご手続きをお願いします。

また、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」からも申告書の作成ができますのでご利用ください。

- ◎二戸税務署・申告作成会場
- ・開設期間 2月1日(月)~3月15日(月) ※土日、祝日を除く
- ・開設場所 二戸税務署1階会議室
- 【問い合わせ先】二戸税務署(23-2701)

お詫びと訂正

広報かるまい平成22年1月号12ページの雑穀料理教室の記事に誤りがありました。訂正してお詫びします。
誤 在京軽米会
正 パルシステム生活協同組合

内科(9:00~17:00) 休日当番医 歯科(9:00~12:00)

いちのへ内科クリニック (33-2701)	一戸町 高善寺	2月21日(日)	森川歯科医院 (23-6361)	二戸市 堀野
齋藤産婦人科医院 (23-2505)	二戸市 石切所	28日(日)	沢藤歯科医院 (25-4002)	二戸市 堀野
藤田内科 (38-2772)	二戸市 浄法寺	3月7日(日)	国香歯科医院(裏小路) (23-2223)	二戸市 福岡
小原内科医院 (23-3410)	二戸市 石切所	14日(日)	関歯科医院 (38-2937)	二戸市 浄法寺

さるなしドリンク20%果汁登場!

(問) ㈱軽米町産業開発(Tel46-4222)

毎月最終日曜日がお買い得
ミル・みる感謝デー
今月は2月28日

(問) ミル・みるハウス(Tel47-1030)



※広報かるまいでは、町内の業者等からの広告を募集しています。(問) 役場総務課 (Tel46-2111)

好評発売中
軽米町産さるなし100%使用
さるなしのお酒
(甘口、リキュール)
500ml ¥1,260 (税込み)
販売元・お問い合わせ
リカー&フーズこぼやし(Tel46-2059)



冠婚葬祭 12月届出分

＜敬称略＞

おめでた	() 内は父母の名
下晴山 山 下 心 緒 (良明・広子)	み お
山 田 日 影 智 よし佳 (孝行・厚子)	と も よし
屋 敷 小 林 桃 果 (利明・笑美子)	も も か
沢 田 田 中 結 づき月 (勉・小幸)	ゆ む づき
下新町 下 田 愛 空 (勝幸・慶子)	あ い く
高清水 下 岩 明香里 (弘樹・愛子)	あ か り
本 町 大 村 翠 (卓也・江美子)	あ みどり
下増子内 檀 澤 花 凛 (隼人・佳代子)	か りん

おしあわせに

板 橋 光 春 (笹 渡)	渡
岩 淵 晴 華 (階上町)	階上
井戸 淵 峻 幸 (屋 敷)	敷
田 中 美 幸 (河 北)	北

おくやみ

() 内は享年

高 柳 巖 主 由五郎 (82歳)	五郎
内 城 紫 葉 チ ヤ (79歳)	チヤ
上新町 上 村 シ エ (69歳)	シエ
中 村 十文字 富 男 (78歳)	富男
市野々 山 下 ツ ギ (88歳)	ツギ
高 家 上 澤 岩太郎 (83歳)	岩太郎
上 館 中 里 雄 一 (73歳)	雄一
元屋町 中 村 よし子 (77歳)	よし子
上野場 平 内 仁太郎 (79歳)	仁太郎
上新町 江刺家 ス エ (80歳)	スエ
仲 町 古 川 シヅ子 (79歳)	シヅ子
向高家 古 川 喜 一 (78歳)	喜一
観音林東 神久保 武 志 (73歳)	武志
民田山 長 坂 重三郎 (86歳)	重三郎
上新町 坂 本 ハツエ (86歳)	ハツエ
下門子組 泉 山 ミ ツ (86歳)	ミツ
蓮台野 輪 達 ヨ ネ (93歳)	ヨネ
下尾田 館 野 カ ヨ (80歳)	カヨ

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。



3月で閉校となる山内小学校（菊地孝校長、児童36人）最後の授業参観が1月27日、保護者ら約50人が見守るなか同校で行われました。「さぐろう！しりつくそう！山小の歴史はっけん！」をテーマに、全校児童による山内神楽「剣舞」の演舞や、同校の歴史に関する発表が学年ごとに行われました。2学期から練習を重ねてきた神楽は、初めて踊る児童もいる中、全校児童が一つになった発表で、会場を感動の渦に包み込んでいました。

ある日の風景

我が家の人気者 あこやがさん



戦いごっこをするのが好きなひびき君とゆづき君。二人の将来の夢は、兄弟そろってシンケンジャーになること！今日はカメラの前でお気に入りのポーズをしっかり決めてくれました。

（お母さんから一言）
いつまでも、兄弟仲良く元気に育ってね！

右) 江刺家 響 くん (5歳0カ月)

左) 優月 くん (2歳5カ月)

愛称：ひびき、ゆづき

(下新町) 健太郎さん・ゆかりさんの長男、次男

●人の動き <平成21年12月31日現在/町民生活課調べ>

男 5,307人(-5) / 女 5,477人(-4)

合計 10,784人(-9) / 世帯数 3,727(±0)

※()は前月比

転入 10人(211人) / 転出 11人(284人)

出生 9人(59人) / 死亡 17人(174人)

※()は1月からの累計

ほっとひといき / 編集後記

認知症予防のついでに、**認**だいた資料に、認知症の予防には、勉強や趣味、スポーツなどを楽しく行うことが効果的と書いてありました。「楽しく」というのがポイントのようです。将来ボケるんじゃないかと、なぜかみんなに心配されている私は、資料を熟読。

とある取材先で「あんだが広報作ってるのが。いつも楽しみに見てるよ」というお言葉をいただきました。大変ありがたい言葉で、悩みも疲れも吹き飛ば一言でした。(悩みはありませんでしたが)町民の皆さんのために仕事を頑張ろうと思った出来事でした(山下)